

様式1 **令和3年度 清瀬市立清明小学校 学校評価計画**

学校の教育目標	明るく豊かな心を持ち 進んで学ぶ児童の育成 ○よく見つめよく考える子 ○親切で思いやりのある子 ○健康でたくましい子	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も他の人も大切にし、お互いに助け合う児童及び主体的に学習に取り組む児童の育成 ・児童の基礎的・基本的な学力を保障するための授業改善の実施 ・学習面・生活面のきまり「清明スタンダード」の活用及び共通理解を徹底した指導の実施 ・持続可能な社会づくりに向けた教育活動の実施 ・余剰時間を活用した「パワーアップタイム」の実施
目指す学校像(ビジョン)	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさがある学校・人とのかわりを大切に、仲良く助け合う優やささあふれる学校 ・心と体の健康づくりに取り組み、生き生きとした元氣あふれる学校・家庭及び地域に信頼される開かれた学校 		
【目指す学校像】	・学ぶ楽しさがある学校・人とのかわりを大切に、仲良く助け合う優やささあふれる学校		
【目指す児童・生徒像】	共に学び 共に育ち 笑顔あふれる清明の子		
【目指す教師像】	教育公務員としての使命感と責任感を持ち、チーム清明小として何事にも挑戦する。		

前年度までの学校経営上の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価結果の分析から児童の実態と教員の意識に乖離がみられ、解決できなかった課題や原因が明確になった。 ・基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が喫緊である。教員が課題を自分事として捉え、課題に対し学校全体で組織的に指導を行う体制をつくる。
--------------------------	---

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	児童に基礎的・基本的な学力を定着させる。	児童の学習意欲を高める。	教員一人一人がねらいを明確にし、めあて達成のための学習活動を工夫して、児童に学習活動の振り返りをさせる授業改善を行う。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
		児童に基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。	「清明スタンダード」を教員間で共通理解し指導に当たるとともに、東京ベーシックドリルを活用し、個のつまずきに応じた指導を推進する。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
豊かな心の育成	命や人権を大切にしたい豊かな心を育成する。	組織的ないじめ防止対策を強化する。	月1回のアンケートを実施したり、適宜いじめ防止対策委員会を開催したりして、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を図る。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
	学校図書館の機能を充実させる。	児童に読書に親しませ、読書への関心を高める。	週1回の朝読書や年2回の読書旬間を充実させ、読書に対する意欲を高める。学校図書館支援員、公立図書館との連携を推進する。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
健康やかな体の育成	健康の保持増進と体力の向上を図る。	児童に基本的な生活習慣を身に付けさせる。	家庭と連携して児童に「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身に付けさせ、生活リズムを整える。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
	運動の特性に親しみ、運動の習慣を身に付けさせる。	体育の学習においてコーディネーショントレーニングを取り入れ、安全で楽しい体育学習に向けた授業改善を行う。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上	
		3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上		
		2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上		
特別支援教育の充実	児童に「できる喜び・分かる楽しさ」を味わわせる。	児童の実態を適切に把握するとともに情報に教員間で共有した上で指導を充実させる。	作成した個別の教育支援計画と個別指導計画をもとに、担任と特別支援教室の教員が情報を共有して指導に当たる。	4 教員の自己評価が90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価が80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価が60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を推進する。	特別支援教室の教員を活用し、教員一人一人がユニバーサルデザインの視点を取り入れ、個に応じた指導を充実させる。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上	
		3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上		
		2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上		
本校の特色	持続可能な社会づくりに向けた教育を推進する。	生活科や総合的な学習の時間を要として、問題解決的な学習や体験的な活動の充実させ、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。	地域の豊富な教材を活用した指導方法を学び、児童が設定した課題について探究する学習を展開できるよう授業改善を行う。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上
			3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上	
			2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上	
	学校支援本部と連携し、ボランティアの充実を図る。	図書ボランティアを活用した読書に親しみ環境や機会を充実させる。また、学校図書館専任司書と連携し、学習の充実を図る。	4 教員の自己評価で90%以上	4 保護者の満足度が80%以上	
		3 教員の自己評価で80%以上	3 保護者の満足度が70%以上		
		2 教員の自己評価で60%以上	2 保護者の満足度が60%以上		